

大地震発生後の対応について

高松市立山田中学校

保護者の皆様には日頃より学校の教育活動にご支援ご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、学校では「東日本大震災」の発生以来、防災時における生徒の安全確保について見直しを行ってまいりました。過日の大地震発生時には、電話やメール等が非常に利用しにくくなることや交通機関も混乱するなどの影響が出ております。

つきましては、震度5弱以上の地震発生時の対応について下記のとおり場合に分けて、生徒の下校、待機、保護者への引き渡し等の基準を作成しましたのでお知らせいたします。

記

1 学校にいる間の大地震

生徒のそれぞれの活動場所で最も安全な方法を取り、その後、生徒全員を校庭に避難させます。学校では、危険箇所の確認をし、被害の状況を把握します。

(1) 通信手段・電気・水道などが使用可能な場合

連絡メールで、今後の対応をお知らせします。地震の程度にもよりますが、状況を確認してから、通常下校、一斉下校、場合によっては学校で待機させ引き渡しになります。なお、混雑が予想されますので、連絡メール等の送信には、ある程度の時間を要します。

(2) 通信手段・電気・水道などが使用不可になった場合

学校で待機させます。保護者が引き取れる場合は引き渡しを始めます。余震や交通等に十分注意して迎えに来てください。

※ 保護者が迎えに来られない場合

衛生面や体調に留意しながら、引き取りに来るまで、避難場所でもある学校（校舎、体育館等）で待機をします。

2 登下校中の大地震

学校か家庭（状況により家族で決めた避難場所やより安全と判断した場所）に避難してください。家庭でも避難場所、通学路を再確認してください。

交通安全や落下物などに注意し、少しでも安全な場所に避難してください。可能であれば学校に所在を連絡してください。

3 家庭にいる間（夜間）の大地震

(1) 電話やメールが不通の場合

原則として自宅待機し、電話やメールが回復してのち、学校からの連絡を待ってください。

(2) 電話やメールが通じる場合

朝、7時00分ころまでに登録された携帯へメールで連絡します。

4 家庭にお願いしておきたいこと

(1) 家庭やご近所同士で、非常時の連絡方法や避難などについて話題にし、共通理解しておいてください。通学路の危険が想定される箇所についてもお願いします。

(2) 迎えは、できるだけ徒歩か自転車で来校してください。車は原則不可です。

(3) 山田中学校は一般市民の方の避難所にもなっております。

(4) 飲み水、ラジオ、懐中電灯、ローソク、毛布、マスク、非常食などを避難場所に持参や提供できる方はご持参ください。